

3・11福島現地闘争へ!

2017年1月23日
No.436

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

1・19東北大集会打ち抜く!

1月19日、東北大学キャンパスで、「韓国で始まった革命に続こう!京大生の処分撤回!東北大3243人解雇許さない!1・19東北大集会」を行いました。昨年2回の集会に引き続き、今回のキャンパス集会も東邦大学学生自治会とみやぎ連帯ユニオンの共催で行い、宮城県で闘う労働者とともに、キャンパスにいる学生に団結して闘おうと訴えました。

◆被処分者・阿津くんの登場に学生が反応!

集会の最初に、みやぎ連帯ユニオンの鈴木委



員長が「昨年、東北大学による3243人の非正規雇用の教職員の解雇が注目されました。この雇い止め解雇に対する激しい怒りが大学当局を追い詰めています。昨年10月、大学当局はこの解雇方針を見直さざるを得ないところまで追い込まれました。当局が決めた方針は絶対ではありません。団結して戦えば絶対に解雇を撤回させることができます」と、学生・教職員に対して渾身の訴えが行われました。

続いて、京都大学から駆けつけてくれた被処分者である阿津くんがマイクを握ってアピール。

「僕たちは大学や社会に対して反抗していいときじゃないかと思っています。大学の経営陣が進めている軍事研究や『大学の商業化』などに反抗しよう。東北大学の教職員3243人の雇い止め解雇は、これから日本中でどんどん増えていく問題だと思っています。だってこの先、経済



東北大キャンパスで訴える京大被処分者の阿津くん

が発展する契機がまったくない、いきつくところまで行きついているからです。だからいまの社会は新しいものに生まれ変わる。しかし、これを新しくするのは、偉い学者や、大富豪、政治家たちではないんです。私たちが力を合わせて、社会を新しく変えるんだと思っています。僕は、停学処分になり、退学になるかもしれない。就職できるかわからない。しかし、僕は悲しくはありません。いまこの時代に生まれたこと、社会が新しく生まれる瞬間に立ち会っている、僕たちが団結して社会を変えられる、うれしい状況なんじゃないかなと思います。僕は東北大学の学生が、ストライキで闘う海外の大学生、またはストライキを構えている京都大学の大学生と一緒に闘ってくれることを楽しみにしています。」。

さらに、全学連・福島から『3.11反原発福島行動'17』の訴え、全金本山労働組合、NAZENみやぎ、仙台市内の郵便局で働く労働者、婦人民主クラブ全国協議会・宮城支部から、東北大学にいる学生や労働者に対する熱烈なアピールが行われました。

集会の最後に、石田真弓くんから「東北大の中から、解雇、戦争に新しい仲間が立ち上がっていくことに東北大当局は戦々恐々としています。私たちが団結を固め、決意を固めて、社会のあり方、大学のあり方をひっくり返していく



東北大キャンパスで訴えるみやぎ連帯ユニオン・鈴木委員長

行動に立ち上がっていくことだ。学生自治会とみやぎ連帯ユニオンに入ってともに闘おう」と、まとめと行動提起が行われました。

◆

資本主義社会の矛盾の現れである戦争や貧困は、世界中で学生や労働者の決起を生み出しています。それは、東北大学でも同じです。3243人の怒りが当局を追いつめています。そして集会にも、ビラを読んで阿津くんの発言を聞きにきた学生や、研究室の研究員や留学生が処分撤回署名をしてくれました。集会の翌日の昼休みの展開でも、阿津くん「(同学会の) ツイッターを見てます」と声をかけていく学生もいました。学生・教職員の団結で処分・解雇を撤回させよう!

奪われてたまるか! 避難いのち 子どもの未来

3.11反原発福島行動'17

〈日時〉 3月11日(土) 13時~ ※12時開場 ※15時デモ出発

〈場所〉 郡山市 開成山・野外音楽堂

〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会

〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com

